

調査の概要

1 目的

山形県広報広聴推進課において、県が実施した広報活動の効果を評価検証し、見直しや改善に活用するためにアンケート調査を実施するもの。  
「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進」が広報テーマの一つに選ばれ、情報発信の効果や課題、ターゲットの態度や行動の変化を喚起しているか等について調査を実施。

2 方法

インターネットでのアンケート調査

3 対象

県内外在住の20代以上の男女6,000人  
(県内：1,000人、県外：5,000人)  
※ 対象地域は、北海道・東北地方、関東地方、関西・中京圏

4 実施時期

令和6年7月  
(調査結果確定版の提供は10月を予定)

調査項目

- Q1 普段、どの程度、鉄道を利用しているか。**  
(ほぼ毎日・週に5日程度・週に3～4日程度・週に1～2日程度・1か月に数回・それ以下・利用しない)
- Q2 どのような目的で鉄道を利用しているか。**  
(通学・通勤・勤務中の移動・日常的な買い物、用事・通院・友人、家族に会いに行く・外食、飲み会・レジャー、観光・イベントへの参加)
- Q3 駅や駅周辺施設で利用したことがあるもの、また、今後利用したい、あれば便利だと思う施設。**  
(役所・コミュニティセンター・福祉センター、児童センター・公民館・図書館・病院・貸会議室・レンタルオフィス、コワーキングスペース・ATM・コンビニエンスストア・スーパー・ショッピングモール・薬局・飲食店・ファーストフード店・美容院、理容店・ホテル、旅館・映画館・スポーツジム・遊園地・公園、子どもの遊び場)
- Q4 鉄道に関し、どのような情報に興味や関心があるか。**  
(運休や遅延など鉄道の運行状況・鉄道の混雑状況・駅構内の混雑状況・利用する路線や駅に関する利用者からの最新の投稿情報・駅構内や周辺のバリアフリー化している経路・駅でのイベント開催スケジュール・駅周辺のグルメマップ・駅から徒歩圏にある観光スポット・駅から観光スポットまでの移動方法・鉄道を使った観光スポットモデルコース)
- Q5 イベント情報を知りたい時、どのような媒体から情報を入手しているか。**  
(新聞・ラジオ・テレビ・インターネット(HP、ブログ・メルマガ・フェイスブック・X・Instagram・ライン・TikTok・ニュースサイト・YouTube等動画サイト)、雑誌・書籍)
- Q6 駅や駅周辺で開催されるイベントに鉄道で行ききっかけになると思うもの。**  
(運賃割引サービス・イベントの割引クーポンが付いてくる切符・駅とイベントが一緒にスタンプラリーを実施・駅の構内でイベントが開催・駅からイベント会場までの移動手段がセットになっているチケット・鉄道を利用した来場者へのプレゼント)
- Q7 どのようなことがあれば、鉄道を利用したくなるか。**  
(利用回数に応じてポイントがもらえる・定期的にお得なチケットを発売・運行本数を増やし待ち時間を短縮・駅の中にカフェ等のコミュニティスペースがある・駅の中や周辺に日常利用する施設がある・定期的に駅や駅周辺でイベントを開催・地域産品の販売所がある・駅の中に習い事の教室や発表するスペースがある・各地の鉄道や駅を紹介するイベントを開催・近くの名所を巡る観光ツアーを実施・客車の中で会食や娯楽を楽しむツアーを実施・客車の中でペットと一緒に楽しみながら移動・客車に自転車を持ち込むスペースがある・酒蔵を巡るツアーを実施・各地のお酒を楽しむイベントを実施)

県内在住者の調査結果(暫定版)

**Q1 鉄道の利用頻度**  
約5割の人は鉄道を利用していない  
鉄道利用者のうち約9割は1か月に数回以下の利用にとどまる

ほぼ毎日	0.6
週に5日程度	0.8
週に3～4日程度	0.4
週に1～2日程度	0.9
1か月に数回	4.1
それ以下	46.4
鉄道を利用しない	46.9

(県外) 鉄道を利用していない人は約2割

**Q2 鉄道の利用目的**  
レジャー・観光での利用が最多  
次いで、友人・家族に会いに行く、イベントへの参加が多い

レジャー、観光	64.8
友人、家族に会いに行く	18.4
イベントの参加	11.9
外食、飲み会	10.2
勤務中の移動	7.5
日常的な買い物、用事	4.2
通勤	3.6
通院	2.4
通学	1.9

(県外) レジャー・観光に次いで、通勤が多い

**Q3 駅や駅周辺施設の利用、利用意向・便利な施設**  
利用したことがある施設も、今後利用したい、あれば便利と思う施設も、コンビニエンスストア、スーパー、ATMが多い

利用したことがある施設		利用したい施設、便利な施設	
コンビニエンスストア	75.7	コンビニエンスストア	59.3
スーパー	62.3	ATM	51.7
ATM	59.7	スーパー	51.2
役所	59.1	ショッピングモール	44.4
飲食店	58.5	飲食店	42.3

(県外) ほぼ同様の傾向

**Q4 鉄道について興味・関心のある情報**  
約5割の人が興味・関心が特にないと回答  
興味・関心がある情報は、運休・遅延等の運行状況、駅周辺のグルメマップ、駅から徒歩圏にある観光スポット

特にない	45.4
鉄道の運行状況	35.0
駅周辺のグルメマップ	25.2
駅から徒歩圏にある観光スポット	22.7
駅から観光スポットまでの移動方法	21.0
ATM	20.5
現時点の鉄道の混雑状況 <small>(座れるかどうか)</small>	20.5
鉄道を使った観光スポットモデルコース	13.7
駅でのイベント開催スケジュール	9.9

(県外) 興味・関心がある情報は同様(興味・関心が特にない人は3割強)

**Q5 イベント情報を知りたい時、どのような媒体から情報を入手する際の媒体**  
HP、ブログが最多で、テレビ、Instagramが続く  
20代のみ、Instagramが最多

HP、ブログ	38.0
テレビ	31.8
情報を入れない	22.2
Instagram	14.9
その他のインターネット	13.2
新聞(地方紙)	12.8
X(旧Twitter)	13.7

(県外) ほぼ同様の傾向

**Q6 イベントに鉄道で行ききっかけ**  
運賃が割引かれるサービスが最多で、イベントの割引クーポンが付いてくる切符、駅からイベント会場までの移動手段がセットになっているチケットが続く

運賃が割引かれるサービス	52.8
イベントの割引クーポンが付いてくる切符	32.5
駅からイベント会場までの移動手段がセットになっているチケット	30.5
鉄道を利用した来場者にプレゼントがある	30.1
駅の構内でイベントが開催される	24.2
駅とイベントと一緒にスタンプラリーを行っている	9.7

(県外) ほぼ同様の傾向

**Q7 鉄道を利用したくなる施策**  
利用回数に応じてポイントがもらえるが最多  
次いで、運行本数増により待ち時間を短縮、定期的にお得なチケットを発売が多い

利用回数に応じて、ポイントがもらえる	32.2
運行本数を増やして、待ち時間を短くする	28.9
定期的にお得なチケットが発売される	27.9
駅の中や周辺に日常利用する施設がある	24.7
地域産品の販売所がある	18.8
駅の中に、カフェなどのコミュニティスペースがある	17.2
近くの名所を巡る観光ツアーを実施する	16.3
定期的に駅や駅周辺でイベントが開催される	13.9

(県外) 運行本数の増は4番目  
それ以外は同様の傾向